

基準ランク: Aランク(設置基準レベル)
 Bランク(全国専門学校経営研究会
 目標)
 Cランク(努力目標)

1 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標自己点検・評価項目		基準 ランク	国際アート&デザイン専門学校	
教育理念(建学の精神)・目的・目標、育 成人材像等が、明文化(文章等にまとめ 他者が確認できる状態)しているか。 上記において職業教育機関として専修 学校教育に必要とされる考え方や指針、 内容等を盛り込んでいるか	1	【学内】学生等に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか。(学生便覧等)	A	有
	2	【学内】教職員に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか。(教職員手帳等)	B	有
	3	【学外】学外の方に対して教育理念等を明文化し、公表しているか。(HP、パンフレット、募集要項等)	B	有
	4	【学内】各修業期間における教育目的・目標が文書化され、教育計画が文書化され、提示されているか。	C	有
	5	【学外】各修業期間における教育目的・目標が文書化され、教育計画が文書化され、提示されているか。	C	有
今後の課題と方策				

2 教育の内容 自己点検・評価項目		基準 ランク	国際アート&デザイン専門学校
各学科の教育目標、育成人材像に向けたカリキュラムの作成等の取り組みがされているか。	1 育成人材像に向けた修業年限分のカリキュラムが文書化されているか。	B	有
	2 カリキュラム作成のために複数のメンバーによりカリキュラムの作成が行われているか。(カリキュラム作成委員会等)	B	有
	3 カリキュラム作成メンバーの中に高校生の現状、社会ニーズを反映させるために複数の内部職員をいれているか。	C	有
	4 カリキュラム作成メンバーの中に業界関係者などの外部関係者をいれているか。またはその意見を取り入れているか。	C	有
	5 シラバスあるいは講義要項等が作成されているか。	B	有
	6 各科目の一コマの授業について、その授業シラバスが作成されているか。	C	無
	7 各教員からカリキュラム・シラバスが提出され、とりまとめられているか。	B	有
	8 シラバスあるいは講義要項等が事前に学生に配布されているか。	B	無
各学科の教育目標、育成人材像に向けた教授学習プロセスの改善への取り組みがされているか	9 学生によるアンケート等による授業評価が定期的に行われているか。	B	有
	10 結果に基づく教員面接を実施しているか。	B	有
	11 結果に基づく研修を実施しているか。	C	無
	12 結果に基づく授業観察を実施しているか。	C	無
	13 結果に基づく教員のレポート報告書、改善計画書等が作成されているか。	C	有
	14 その評価結果をもとに改善活動をしているか。	C	有
	15 授業改善のための組織的取組みが行われているか。(授業改善委員会(FD)等)	C	無
各学科の教育目標、育成人材像に向け業界ニーズに対応した付加的教育の取組みがされているか	16 企業・施設等での職場実習(インターンシップ含む)があるか。	B	有
	17 キャリア教育などをおこなっているか。	C	有
	18 ビジネス教育をおこなっているか。	C	有
	19 コミュニケーション能力の向上に向けた取組をおこなっているか。	C	有
	20 リメディアル(導入前教育、補習)を教育をやっているか。	C	有
	21 他の高等教育機関との連携講座等を行っているか。	C	無
	22 企業・地域・行政との連携を図っているか。	C	有
各学科の教育目標、育成人材像に向け教員の資質維持や向上に向けた取組がされているか	23 教職員の研修計画が作成されているか。	C	有
	24 専門性や指導力等の把握や評価、維持、向上のための内部研修・研究を実施しているか。	C	有
	25 専門性や指導力等の維持や向上のための外部研修・研究へ派遣しているか。	B	有
	26 専門性や指導力等の維持や向上のための自己啓発への時間的・財政的な支援をしているか。	C	有
	27 非常勤講師との定期的な情報共有を図っているか。(ミーティング、報告書、教務日誌等)	B	有
今後の課題と方策	<p>2・3・4 昨年の課題を改善し、担当教員だけで作成することなく組織的な取組みが出来ている。 「高校生の現状、社会のニーズ」という要素が付加されている</p> <p>6・8 今後の課題として検討していく。</p> <p>11・12 必ず実施する方向で推進している。</p> <p>15 学内での組織的な取組みを検討していく。</p> <p>21 大学等と連携をして授業を実施しているケースがある。講座に限定せずに連携して取り組むことを含む。</p> <p>23 本校では教員ひとりずつの年間研修計画を作成して実施している。</p> <p>※カリキュラムやシラバスについては昨年度と比較して大きく改善された。 また、平成24年度は教育力向上のための研修委員会が組織され研修計画に基づき実施されている。</p>		

3 教育の実施体制 自己点検・評価項目			基準 ランク	国際アート&デザイン専門学校
各学科の教育目標、育成人材像に向けて教育環境が整備・活用されているか。	1	組織機能図があるか。	A	有
	2	学校の年間スケジュールはあるか。	A	有
	3	図書室・図書コーナー等があるか。	C	有
	4	学生が利用できる参考図書、関連図書は備えられているか。	C	有
	5	就職支援を行う指定された場所があるか。	B	有
	6	分煙・禁煙等に関する規定が文書化・掲示されているか。	B	有
	7	環境エコ活動(節電・ゴミ分別・節水)に関する規定が文書化・掲示されているか。	B	有
	8	学内の整理・整頓・清掃に関するルール等が文書化されているか。	B	有
	9	学内の整理・整頓・清掃に関して定期的に管理、チェックがされているか。	B	有
	10	学内外実習時の安全対策に関して文書化されているか。	B	無
	11	学校生活(実習・行事・学外活動等)において保険に加入しているか。	A	有
	12	防災・防犯設備(非常灯・消火器・警備システム等)が整備・点検されているか。	A	有
	13	学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか。	A	有
今後の課題と方策	3 各学科毎に独自の専門図書コーナーを設けるなど改善が見られた。 10 学生の手引きや実習マニュアルの中に文書で記載するよう改善する。			

4 教育目標の達成度と教育効果 自己点検・評価項目		基準 ランク	国際アート&デザイン専門学校
各学科の教育目標、育成人材像に向けてその達成への取り組みと評価がされているか。	1	学生の就職に関する目標を設定したか。	A 有
	2	学生の就職に関する目標に対して教職員に共有されているか。	B 有
	3	学生の就職活動に関する記録がなされているか。	B 有
	4	学生の就職結果に関して検証・報告がされたか。	C 有
	5	対外部に向けた就職実績を公表していますか。(パンフレット、HP等)	B 有
	6	評価・成績に関する目標を設定したか。	A 有
	7	評価・成績に関する目標に対して教職員に共有されているか。	B 有
	8	評価・成績に関する記録がなされているか。	B 有
	9	評価・成績に関して検証・報告がされたか。	C 有
	10	資格・検定・コンペに関する目標を設定したか。	A 有
	11	資格・検定・コンペに関する目標・計画が教職員に共有されているか。	B 有
	12	資格・検定・コンペ結果に関して検証・報告がされたか。	C 有
	13	資格・検定・コンペの結果(合格者数・合格率)を公表しているか。	B 有
	14	退学率の目標を設定しているか。	A 有
	15	退学率の低減に関する目標・計画が教職員に共有されているか。	B 有
	16	退学結果に関して検証・報告がされたか。	C 有
	17	退学者数を公表しているか。	C 有
	18	卒業生(同窓生)の進路・就職先等の記録がなされているか。	C 有
	19	卒業生(同窓生)の進路・就職先等を公表しているか。	C 有
	20	卒業生(同窓生)の1年後の就業状況を把握しているか。	C 無
	21	卒業生(同窓生)の1年後の就業状況を公表しているか。	C 無
今後の課題と方策	19 卒業生の就職先をパンフレット等で開示している。在校生や高校生へモチベーションをアップさせるため有効である。 20・21 今後の課題として取組が必要である。		

5 学生支援 自己点検・評価項目		基準 ランク	国際アート&デザイン専門学校
各学科の教育目標、育人人材像に向けて入学前から卒業後まで学生支援が整備され組織的に行われているか(入学前)	1	学校案内等には育人人材像が明示されているか。	A 有
	2	学校案内等には目指す資格・検定・コンペが明示されているか。	A 有
	3	学校案内等には学費・教材費等が明示されているか。	A 有
	4	学校案内等には選抜方法が明示されているか。	A 有
	5	入学に関する問い合わせ等に適切に対応できる体制ができているか。	A 有
	6	学校説明会等による情報提供(上記1から4)を行っているか。	A 有
	7	入学予定者に対し学習指導・支援等は行われているか。	C 有
	8	入学者に対し学習、学生生活のためのオリエンテーションは行われているか。	B 有
各学科の教育目標、育人人材像に向けて入学前から卒業後まで学生支援が整備され組織的に行われているか(在学時)	9	担任による面談が定期的に行われているか。	B 有
	10	キャリアサポート関連の有資格者(キャリアカウンセラー・キャリアコンサルタント・産業カウンセラー等)がいるか。	C 無
	11	担任以外に学生の健康管理・メンタルヘルスについて相談できる担当者がいるか。	C 有
	12	学生指導に関する教職員の相談に応じる相談窓口が周知されているか。	C 有
	13	学生指導に関する教職員の相談に応じる体制があるか。	C 有
	14	学生の面談・相談記録があるか。	B 有
	15	定期的に健康診断を行っているか。	A 有
	16	奨学金制度等の経済的支援があるか。	A 有
	17	保護者との計画的な相談会・面談を行っているか。	B 有
各学科の教育目標、育人人材像に向けて入学前から卒業後まで学生支援が整備され組織的に行われているか(卒業後)	18	卒業生の会(同窓会等)はあるか。	C 有
	19	卒業生への職業紹介をしているか。	B 有
	20	卒業生への講習・研修を行っているか。	C 無
	21	卒業生の就業先への定期的な訪問をしているか。	C 無
	22	学校情報を卒業生に知らせているか。(HP, 学校便り等)	C 有
上記以外を通じての学生支援	23	保護者の会(後援会等)はあるか。	C 無
	24	企業の会(就職後援会等)はあるか。	C 無
	25	学校情報を保護者に知らせているか。(HP, 学校便り等)	C 有
	26	学校情報を高等学校等に知らせているか。(学校便り、DVD等)	C 有
	27	学校情報を企業等に知らせているか。(学校便り、DVD等)	C 有
今後の課題と方策	<p>7 入学前全員に対して2月に開催された卒業修了制作展のギャラリートークで実施。</p> <p>10 キャリア推進事業部との連携により、学生指導を充実させている。</p> <p>20 今後の課題として検討していく。</p> <p>21 卒業生の就業先へ定期的に訪問することで、求人開拓にもつながるので検討していく。</p> <p>23・24 専門学校への保護者理解は必要となるので今後検討していく必要がある。</p>		

6 社会的活動 自己点検・評価項目		基準 ランク	国際アート&デザイン専門学校
意図的・計画的・組織的に社会活動への取組が推進されているか	1 目標・計画に基づく社会的活動(地域活動、地域貢献、ボランティア活動等)を実施しているか。	C	有
	2 地域社会の行政、商工業、教育機関、文化団体等へ加盟をしているか。	B	有
	3 上記において定期的な会合に参加しているか。	B	有
	4 教育資源(施設・設備の開放・教職員の出張講座等)を地域社会に提供しているか。	B	有
	5 社会的活動(地域活動、地域貢献、ボランティア活動等)を評価・単位認定をしているか。	C	有
	6 地域貢献を目的とした公開講座等を実施しているか。	C	無
今後の課題と方策	<p>5 近隣の清掃活動などクラス全員参加のボランティアを実施している。 震災後のボランティアへの取り組みについて福島県からも指導通知があった。被災県の学校として可能なところから推進していく。</p> <p>6 今年度は開催実績がなかったので、今後再度の取り組み再開を検討する。</p>		

7 管理運営 自己点検・評価項目		基準 ランク	国際アート&デザイン専門学校
学校の管理・運営体制が確立していること	1	理事会が定期的開催されているか。	A 有
	2	評議員会が定期的開催されているか。	A 有
	3	理事会・評議員会の議事録は公開されているか。	A 有
	4	運営会議(教職員会議・教員会議等)が定期的開催されているか。	B 有
	5	組織の構成員のそれぞれの職務分掌が文書化されているか。	A 有
	6	決裁規程が文書化されているか。	B 有
	7	人事規程が文書化されているか。	B 有
	8	人事考課制度は文書化されているか。	B 有
	9	昇進・昇格制度は文書化されているか。	B 有
	10	賃金制度は文書化されているか。	A 有
	11	採用制度は文書化されているか。	B 有
	12	防災・防犯・非常時対策に対して文書化されているか。	A 有
	13	防災・防犯対策に対して組織化されているか。	A 有
	14	定期的に防災訓練を実施しているか。	A 有
	15	個人情報保護規程が文書化されているか。	A 有
	16	ハラスメントに関する規定が文書化されているか。	B 有
	17	公印管理簿があるか。	B 有
	18	出退勤管理簿があるか。	A 有
	19	受信・発信簿があるか。	A 無
	20	SD(スタッフディベロップメント)に関する計画・実施されてるか。	C 有
	21	教職員の健康診断がされているか。	A 有
今後の課題と方策	19 公的文書についての受信・発信簿は各校必ず作成して文書管理を徹底すること。 20 授業アンケートに基づく授業改善を実施し個別研修を実施している。		

8 財務 自己点検・評価項目		基準 ランク	国際アート&デザイン専門学校
財務体質が健全であり財務運営が適切に行われているか	1	年度予算、中期計画が策定されているか。	A 有
	2	予算は計画に従って妥当に執行されているか定期的に確認しているか。	B 有
	3	会計監査(内部・外部)体制のルールが明確化されているか。	B 有
	4	会計監査(月次決算書等)の結果報告が文書等にて明確化されているか。	B 有
	5	私立学校法における財務情報公開の体制整備はできているか。	A 有
	6	固定資産管理規程が文書化されているか。	B 有
	7	図書管理規程(養成施設等)が文書化されているか。	C 有
	8	物品(消耗品、貯蔵品等)等の在庫管理をしているか。	B 有
	9	施設設備の保守・管理が定期的に行われているか。	A 有
	10	物品購入等における複数業者からの確認がされているか。	B 有
今後の課題と方策			

9 改革・改善 自己点検・評価項目		基準 ランク	国際アート&デザイン専門学校
各学科の教育目標、育成人材像に向けて自己点検・評価活動の実施体制が確立して改革・改善のためのシステム構築がされているか	1 自己点検・評価を適正に実施運用するためのルールが文書化されているか。	B	有
	2 自己点検・評価の組織があるか。	B	有
	3 評価・改善を行うための組織があるか。	C	有
	4 自己点検・評価の必要性を全教職員に伝える機会を設けたか。	A	有
	5 自己点検・評価の結果を全教職員で共有する機会を設けたか。	B	有
	6 自己点検・評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証がされたか。	B	無
	7 自己点検・評価報告書があるか。	B	無
	8 自己点検・評価報告書が公表されているか。	C	無
今後の課題と方策	<p>5 自己点検・自己評価を実施して全職員への共有機会を設けている。</p> <p>6 期限の明確化が可能なものは速やかに対応し、それ以外は継続的に改善へ向けた対応を進める。</p> <p>7・8 自己評価報告書を公開することを検討していく。</p> <p>自己点検評価を公開することで課題認識が明確となり改善の具体的取り組みを検証することが出来る。</p> <p>自己点検評価により、継続の確認及び改善を加速させることが出来る。</p>		